

「安心・安全」を保証し、 エコをも推進する非破壊検査の雄

安全と環境への配慮が重視される中、メーカー自身がモノを壊さないで検査する技術「非破壊検査」を必要とする時代となっている。確実性が求められる「検査」という仕事で、確かな信頼を得て日本全国にリピーターを増やしているのが「青葉」だ。

地震大国である日本は、建築物に耐震・耐久力が求められる。しかし、手抜き工事による欠陥住宅問題が相次ぎ、世間を騒がしたことは記憶に新しい。それゆえ消費者は、本当に信頼できる「安全・安心」を求めているのだ。

それに応えるには、不良材料の早期発見、不良の生じない加工方法など、質の高い「検査」が必要になる。しかし、完成したものは検査しようにも、破壊しなければ内側の状態が分からないため、モノを壊さないで、それらの性質、状態、内部状態、内部欠陥などを調べる「非破壊検査」が必要となっている。

実際、国土交通省が配筋検査や、コンクリートの強度測定などを非破壊検査で行なうよう



日本全国どこでも、地域の発展と活性化のために現場作業はもちろん技術指導にも行なうなど、多岐にわたるニーズに応えてくれる。

補強工事等を使う鉄筋検査、鉄筋の腐食検査、コンクリート強度測定、地中探査（地下埋設物の位置の特定など）を実際に行なっているが、国土交通省、ネクスコ、JRなどの配筋検査の作業も多かった。しかし最近では個人のお客様からもリフォームにともなう鉄筋検査、建物基礎などの注文が続き、長く安心して暮らせる住まいの表現を提供しているのだ。

非破壊検査は、モノを壊さないで、強度を保てる利点があるものの、見えない部分を測定するため、対象外のものに反応する場合がある。測定員の確かな測定能力が求められるプロの仕事だ。同社の従業員の検査技術は高く、営業する必要があるほど、リピーター

になり、各メーカーや自治体も自主的に非破壊検査に取り組むなど、同検査への注目は高まっているのだ。

1994年に測量業務を事業として創業した「青葉」は、現在、質の高い検査・試験業務を行なう企業として評判だ。非破壊検査では、新設工事現場で、設計通りに施工ができていないか、および、耐震

がどんどん増加している。誰もが求める信頼の検査がここにあるのだ。

そんな同社のコンセプトは「自然との共生社会」。非破壊検査のもう一つの利点である。検査対象を破壊せず、その安全性を確認しながら、商品や設備を可能な限り長期間にわたって利用することができるのだ。それにより、廃棄物を大きく減らすことができ、ひいては、地球環境保全にもつながっていく。産業と環境、一見相反するように見えるもの行く末を支える非破壊検査をリードしていく同社の活躍に期待が高まるばかりだ。

（ライオン）提供記事

取材協力

有限会社青葉

☎079-233-4137

【受付時間】8:00~17:00

FAX/079-233-4139

所在地/兵庫県姫路市飾磨区下野田4-688-102

定休日/土・日曜日・祝日

http://www.y-aoba.com/